



かとう ゆうや  
介護支援専門員 加藤 憂也 さん

これまで釧路や根室の地域で培った経験を生かしながら、利用者の気持ちに寄り添った支援を提案していきます。

みよし こうじ  
主任介護支援専門員 三好 耕二 さん

本事業所では、利用者やその家族から信頼され、親しまれるよう関わりを持ち、安心して過ごせるよう支援に努めています。



やまもと あやか  
介護支援専門員 山本 綾香 さん

現場経験が長く、特に認知症の方との関わりは経験豊富です。生活面における相談など、お気軽にお声がけください。

むらかみ なおゆき  
介護支援専門員 村上 直幸 さん

介護勤務の経験を生かし、利用者やその家族の立場に寄り添った、居宅介護支援を提供させていただきます。



たまやま ゆみこ  
介護支援専門員 玉山 優美子 さん

みなさんが長く住み慣れたこの地域で生活できるように、誠意をもって寄り添う支援を心掛けています。

はしば えつこ  
介護支援専門員 橋場 悦子 さん

やりたいことや望む暮らしが見つかるように、専門職として、気持ちに寄り添って支援させていただきます。



——ケアプランを作成する上で、困っていることはありませんか。

困ることはありませんが、よく相談されるのは釧路市の医療機関にかかっている方の送迎費用の問題です。介護タクシーを使っても往復で1万円以上はかかります。町内の病院であれば、介護保険制度の「通院等乗降介助」でヘルパーによる送迎などができますが、釧路市までとなると、それはできません。どうしても釧路市内の病院へ行かなければならない方もいますので、その方たちの送迎費用は大変だと思います。

——全国的に介護人材が不足していますが、町内のケアマネジャーはどういう状況ですか。

今は6人体制でやっていますが、さらに安定した支援を維持していくためには、ヘルパーや春風（地域密着型通所介護事業所）といった介護職員も含め、一人でも多くの職員を確保することが必要だと思っています。ですが、求人募集をしてもなかなか人が来てくれないというのが現状です。

——ケアマネジャーは、若い方からベテランの方までいらっしゃいます

が、ケアマネジャー間での連携は図られていますか。

たとえば、病气やけがなどで、ケアマネジャーが休まなければならなくなった場合、利用者としては当然、担当のケアマネジャーに来てほしいという思いはありますから、日程を再度調整するのですが、どうしてもその日に来てほしい、その日に行かなければならない、ということもありません。その場合は基本、主任ケアマネジャーの私が代わって対応するのですが、私が行けないときは、ほかのケアマネジャーに行ってもらったこともあります。ですので、いつでも誰でも代わりに対応できるように、ケアマネジャー間で連携を取っています。また、ホームヘルパーや各介護施設、訪問看護ステーションなどの関係機関ともうまく連携が取れていると思っています。そうした関係機関との連携も私たちケアマネジャーが中心となってやらなければならないと思います。もちろん、利用者や家族と、介護サービスを提供する事業者や施設との間に立って、双方をつなぐことも私たちがしっかりとやらなければならない重要な役割です。